

TPP参加阻止 震災復興に全力



参院本会議で東日本大震災復興特別区域法案について代表質問 (11月30日)

山田俊男
国政報告

第8号

〈平成24年1月発行〉

〒100-6826
東京都千代田区大手町
1丁目3番1号

TEL 03-3286-3924

FAX 03-3286-3929

(山田としお後援会)

自民党農林部会長に就任
大激動期の農業政策に全力

新たな年が明るく、よき年
でありますよう、心より祈念
いたします。

私は昨年10月、自民党農林
部会長、シヤドウ・キャビネッ
トの農林大臣に任命されまし
た。歴史ある自民党農政のか
なめ役であり、重責を痛感す
るとともに、この大激動期にあ
つて、生産現場起点で職責を果

震災復旧復興は最優先
現場起点で対策にまい進

たしていく決意です。

震災復旧復興は最優先
現場起点で対策にまい進

昨年東日本大震災という
未曾有の大災害が発生し、被
災地では今なお明日の見えな
い、苦しい毎日が続いていま
す。東京電力原発事故によっ
て、たくさんの方々が故郷から
追われ、いつ帰れるのか、その
見通しは立っていません。いま
ま、東北の被災地には雪が降

TPP交渉参加を阻止
反対運動の先頭に立つ

り、大勢の被災者が仮設住宅
で頑張っておられます。申し訳
ない気持ちでいっぱいです。
参院の与野党逆転で復興対
策への自民党の関与が強まっ
ています。農林水産業の再建に
最優先で取り組みます。
被災者に追い打ちをかける
ように、野田佳彦首相は環太
平洋経済連携協定(TPP)交

野田政権に早く終止符を
国づくりの新しい旗掲げる

民主党政権はできもしない
ことをやると言って失敗し、そ
の揚げ句に新自由主義と市場
原理主義に急旋回しました。
この危険な政権に一刻も早く
終止符を打ちましょう。

国の在り方について、今ほど
思いを巡らすことはありません
。私は自民党参院議員の同
志とともに「新しい日本型資
本主義を考える会」を設立し
ました。新自由主義ではなく、
国民の幸せを一番にした国づ
くりの新しい旗を打ち出します。
今年1年全力で取り組むこと
をお誓い申し上げます。

TPP、許せぬ首相の二枚舌

TPP問題では与党も野党ありません。私は
自民党内はもとより民主党系の集会や街頭演説
にも立ち、一人でも多くの賛同者を増やそうと行
動しています。予算委員会では首相、外相、経
産相らに直接、交渉参加反対をぶつけました。

野田首相の発言は二枚舌そのもの。「十分な
国民的議論を経た上で結論を得る」と言いなが
ら、米国から牛肉・自動車・郵政(保険)について
注文が出され、もはや事前協議は始まっています。
米国側の発表によると、日米首脳会談で首相は「全
ての物品とサービスを自由化交渉のテーブルに載せ
る」と発言しました。外務省は事実と違ふと言
いながら、訂正ひとつできません。早くも交渉力
の無さをさらけ出しています。

この政権はことごとく米国に妥協する恐れが
あります。ふたを開けたら大変なことになっている
。そんな事態を避けるには、参加をやめさせる
以外にありません。

徹底した除染と損害賠償に全力

東京電力原発事故による放射能汚染問題
では、福島県の現地を訪ね、つぶさにその実態
を見てきました。草生い茂る農地に涙が出るほ
ど悔しい思いをしました。「ふるさとを失ったJAを
再建できるのだろうか」。組合長の悲痛な声が
耳に焼き付いています。

宅地・農地・林地を含めて徹底した除染を
やり、故郷に一日でも早く帰れるようしなければ
なりません。これは国を挙げての責任です。農林
漁業者は出荷停止、風評被害といまだに苦しみ
の中にいます。除染の効果を上げるまで、国は
農地を買い上げるべきです。自民党農林部会長
として全力で対策に取り組めます。

二重債務解消の支援法に奔走

東日本大震災の復旧・復興で大きな足かせ
になるのが二重債務問題。その救済策となる「東
日本大震災事業者再生支援機構法(二重債務救
済法)」が昨年11月、ようやく成立しました。
私は法案策定の段階から3党協議に自民党代
表として加わり、議員立法の提出者にも名を連
ねました。国会質疑では答弁者の席にも立ちま
した。

最も焦点になったのは債権の買い取り価格を



どう評価するか。その評価の基になるのは、担保
になっている農地や宅地の評価です。国会の
質疑の中で、復興ができた時の価格の見通しを
踏まえて「適切に評価」することを約束させまし
た。発災から1年になる3月11日までに支援機構
を設立できるよう、今努力をしているところです。

本会議場で初めての代表質問

昨年11月30日、国会議員4年半にして初めて
本会議壇上での代表質問の機会を得ました。
東日本大震災復興特別区域法案に関する質
問です。復興計画の主役はあくまで被災者、地
域住民であるべきです。特区を使って外資や企
業の実験場にするのは許されません。

そこで、「当法案が被災者の苦しみにこたえ
るのではなく、新成長戦略における国際競争力
の強化のために被災地を改造しようとする狙い
を持ったものであるならば、容易に賛成できませ
ん」と警鐘を鳴らしました。翌日からの委員会審
議で、たちあがれ日本の藤井孝男参議院代表に
この問題を取り上げていただきました。私の質
問を受けとめてもらい、感謝しています。

勉強会つくり日本の在り方提言

昨年12月、「新しい日本型資本主義を考える
会」という勉強会を自民党参議院の同志ととも
に立ち上げました。TPPに参加しようとする動き
に徹底的に反対するとともに、再び強まって
きた新自由主義の流れとは違う国づくり、いわば
日本型ともいえるべき資本主義の在り方を研究し
、提言していきます。新自由主義・市場原理主
義に対する姿勢は、今後の政治・政局の流れを左
右する重要なポイントです。しっかり議論し、政
権奪回を目指す自民党の政策に反映させていき
ます。

戸別所得補償制度見直しで決裂

戸別所得補償制度については昨年8月の3
党合意で「政策効果の検証をもとに、必要な見
直しを検討する」となりました。しかし、民主党
からは一向に検証結果が示されず、12月に入
ってようやく出てきたのは検証結果と呼べない
内容。このため、3党協議を打ち切りました。
われわれの主張は多面的機能に対する直接支
払いや、担い手総合支援新法が柱です。見直し
をめぐる民主党の対応は極めて不誠実であり、
合意違反として厳しく追及していきます。

真剣勝負



私へのご意見は、ホームページの「ご意見・ご声援」欄に
お寄せ下さい。
山田としお公式ブログははじめました。ぜひご覧ください。
<http://ameblo.jp/toshio-yamada/>